

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	財政局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	財産経営課
	施策	地球温暖化対策の推進		電話番号	087-839-2255
	基本事業	再生可能エネルギーの利用促進		事業実施主体	市
	事務事業	低排出ガス・低公害車・省エネルギー車公用車導入事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	環境基本計画に基づき、市域における温室効果ガスの排出を抑制し、環境負荷の低減を図るため、本市が定める車両更新基準による公用自動車の更新に際しては、積極的に低排出ガス車を選定し、環境性能に優れた車両の導入を図る。		
年度概要	公用自動車の更新に際しては、低排出ガス車の導入を優先して検討する。また、車両の導入に当たっては各省庁の補助金などが受けられるものは購入、その他の場合はリース契約にて初期投資を抑えて経費の平準化を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	公用自動車(病院局・消防局・下水道部を除く)
意図(どのような状態にしたいか)	更新を迎える車両については、用途を考慮する中で普通車から軽自動車への変更等を検討するとともに、低公害車等への切り替えを行う。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
低公害車等導入台数	台	14	15	27	18	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標	低公害車等占有率	%	目標値	55	55	55	55	55
	実績値	51.42	53.06	56.33				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 102.4%
	令和3年度については、厳しい財政状況の下、新たに27台の低公害車を導入することにより、低公害車等占有率については、目標を達成することができた。 							35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[円]	3,002	5,306	5,631	7,069
(事業費)	[円]	726	3,061	3,366	4,804
(職員人件費)	[円]	2,276	2,245	2,265	2,265

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
環境基本計画を踏まえ、低公害車両を優先的に導入してきた。引き続き環境負荷の低減を目指し、次年度以降も積極的に低公害車両の導入を進めていく。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
財政的に厳しい状況において、購入補助金の対象とならない車両については、リースによる経費の削減・平準化を行う中で、低公害車の導入を図っていく。			

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	地球温暖化対策の推進		電話番号	087-839-2393
	基本事業	再生可能エネルギーの利用促進		事業実施主体	市
	事務事業	再生可能エネルギー普及促進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	太陽光発電システム等及び太陽熱利用システムの普及を促進するため、26年度から太陽光発電システムと定置用リチウムイオン蓄電システム、または電気自動車等充電設備を、同時に新規で併設する場合、定置用リチウムイオン蓄電システム、電気自動車等充電設備に対しても補助を行ってきた。令和2年度においては、温室効果ガス削減の観点から、より効果的な補助のあり方について事業の見直しを行った。
-------	--

年度概要	スマートハウス等普及促進補助(基本額)・HEMS及びリチウムイオン蓄電システム又は電気自動車充電設備設置費補助金：10万円 ・HEMS単独設置費補助金：2万円 ・断熱リフォーム補助金：5万円(加算額)・居住誘導該当の場合：5万円 ・ZEH化補助金：5万円
------	---

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象(何を)	太陽光発電システム及び太陽熱利用システム未設置の住宅
意図(どのような状態にしたいか)	太陽光発電システム等の設置により、クリーンな太陽エネルギーを活用した発電を促進する。 太陽熱利用システムの設置により、温室効果ガスである二酸化炭素の排出削減を促進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
太陽光発電システム設置費補助件数	件	374	353	0	442	9,438
太陽熱利用システム設置費補助件数	件	1	0	0	2	103

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
総電力消費量に占める太陽光発電補助による発電量の割合	%	目標値	1.68	1.77	1.85	1.9	1.9
		実績値	1.66	1.73	1.73		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 93.5%
							32点
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 0.0%
							0点

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[円]	34,072	45,790	48,162	40,275
(事業費)	[円]	26,484	27,085	29,287	21,400
(職員人件費)	[円]	7,588	18,705	18,875	18,875

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

温室効果ガス削減の観点から、昨年度より、太陽光発電システム設置に対する補助金及び太陽熱利用システム設置に対する補助金制度を廃止し、スマートハウス等普及促進に対する補助制度に見直しを行った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

国の補助事業で行う脱炭素化等の事業検討結果をもとに、本市の課題とリンクし、地域の特色に沿った再エネ活用の実現化を検討、実施していく。

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	下水道施設課
	施策	地球温暖化対策の推進		電話番号	087-842-5421
	基本事業	再生可能エネルギーの利用促進		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 東部下水処理場バイオマス発電事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	東部下水処理場において、下水汚泥の処理過程で発生するバイオマスを燃料として発電を行い、民間電力事業者に売却することで、資源・エネルギーの有効利用及び健全で持続可能な事業経営に寄与する。		
4年度概要	バイオマスの運転維持管理		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理

【事業の目的】

対象(何を)	バイオマス発電設備
意図(どのような状態にしたいか)	売電収入を得る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
売電量	kWh	2,130,594	2,415,629	2,457,672	1,611,400	1,611,400

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
売電収入	円	目標値	62,844,600	62,844,600	62,844,600	62,844,600	62,844,600
		実績値	83,093,166	94,209,531	95,849,208		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 適切な運転管理及び効率化により、目標値を上回る売電収入を得ることができた。	(目標達成度)						(達成度) 152.5%
35点							
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)	目標値					
		実績値					

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(予算)
トータルコスト	[円]	13,760	65,052	23,457	15,950
(事業費)	[円]	9,833	61,195	19,569	12,062
(職員人件費)	[円]	3,927	3,857	3,888	3,888

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

安定的な発電を行うため、今後も適切な維持管理を継続していく必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

安定的な発電を行うため、定期的な修繕を実施する。